

事業計画書

団体名	坂谷神楽保存会
代表者役職・氏名	会長 大野哲男
会員数	10名
団体の目的	大正時代から踊り伝えられてきた伝統文化「坂谷神楽」を消滅させることなく、若者、子供たちに継承していく等、活性化を図ること
事業申請回数	3回目 (過去の申請年度: 平成30年度、平成29年度)
事業名	坂谷神楽継承事業
まちづくり宣言 ※1	D-2
現状の課題と 事業目的	現在神楽演舞で使用している衣装、小道具等は、手作り品も多く30年以上も使用し経年劣化が進んでおり更新するものである。 又、平成30年度に初めて女性の神楽演者の入会があったことからその衣装を新調するとともに、坂谷神楽の継承を目的とする。
事業内容	神楽演者の衣装の更新、新調を行ない、地域行事(地区民文化祭、敬老会、子ども会育成会等)主催者からの出演依頼などがあった場合は積極的に参加し、伝統芸能の良さや魅力を紹介しながら、新規会員の募集についてもPRして行く。
事業実施場所	坂谷集会所、大平公民館
事業実施期間	令和3年9月10日～令和4年2月28日 <small>交付金対象事業は交付決定後実施可能。</small>
事業スケジュール	衣装の更新後、年度内には衣装を着ての練習風景などのスナップ写真の展示を大平公民館にお願いし、その後も定期的に写真の更新を行って行く。 更に令和4年度には坂谷日吉神社の春か秋の祭典にて、衣装のお披露目を兼ね神楽の奉納を実施する。
事業により 期待できる効果	坂谷神楽保存会会員の活動意欲の増大と新規会員勧誘につながるものと思われる。

※1別紙『第六次白石市総合計画地域別まちづくり宣言』一覧表から実現したい宣言の記号を記入してください。